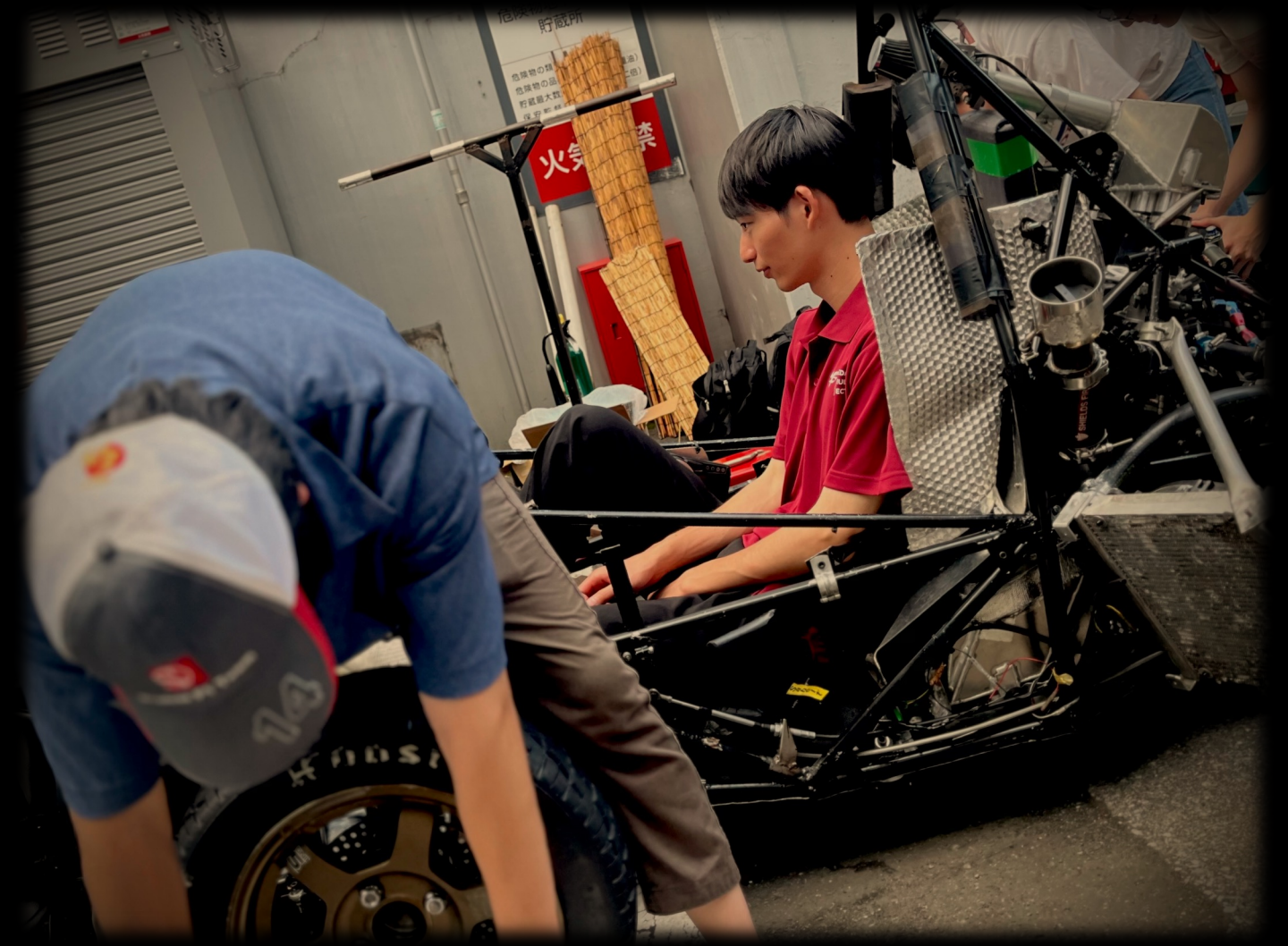


Waseda Formula Project

2023年

早稲田大学
学生フォーミュラチーム
ニュースレター

6月号



1 チーム内動向

(1) 本年のチーム構成	．．．	1
(2) 6月の製作	．．．	2
(3) コストレポート提出	．．．	3
(4) デザインブリーフィング提出	．．．	4
(5) SPD提出	．．．	5

2 各社様からのご支援

(1) Rush Factory様でのパワー計測	．．．	6
(2) ユニホーム卸センター様 つなぎのご提供	．．．	7

チーム構成



全体統括

チームリーダー



B3 井上 遼

アドバイザー



藤井 裕斗
2016-2019活動

製作班リーダー

サスペンション班



B3 内田 直希

エアロ班



B3 中井 謙伸

フレーム班



B3 井上 遼

吸排気班



B3 千原文

電装班



B3 西尾 涉

駆動班



B3 長田 知己

メンバー

B4

榎舎 祐太
小林 恵輔
清水 剛世
山口 慧 (新)

B3

長田 知己
佐藤 尚貴
湯蓋 優大
西尾 涉
内田 直希
中井 謙伸
千原 丈
井上 遼
岸本 千宙

B2

大和田 龍
稲葉 摩人
関 慶太
秋山 凜咲 (新)
小川 洸生 (新)
柳 泰鉉 (新)
山下 悠 (新)
加藤 貴晃 (新)

B1

明比 達也 (新)
市村 卓也 (新)
只野 陽向太 (新)
重見 清香 (新)
藤原 光瑠 (新)
細井 敬哲 (新)

6月の製作

6月は毎年静的審査のシーズンであり、マシン製作の活動は少し縮小しながら活動を行いました。6月1日のコスト提出を皮切りに、6月15日にデザインブリーフィング、6月22日にSPDを提出しました。各提出物については、各審査のリーダーからご報告させていただきます。

マシン製作においては、5月のシェイクダウンで見つかった課題を修正するというのが主な作業となりました。ブレーキホース、コネクタ、シフトワイヤーの新調に加えて、シェイクダウン前日に発覚したサージタンクの吸気漏れ対策などを行いました。また、サスペンションにおいてはストローク時にリアアッパーアームがブラケットと干渉してしまうため、それぞれのブラケットの再溶接を行いました。

ほとんどのメンバーが15日まで、デザイン班メンバーは22日まで静的審査対策に追われながらの製作になりましたが、隙間時間や提出後の短い時間でそれぞれの作業を完了することができました。シェイクダウン以降時間がかかってしまいましたが、昨年よりも早い段階で走行可能なマシンに改良することができました。

7月からは走行会シーズンが始まります。今後もマシン習熟にチーム全体で取り組んでまいりたいと思いますので、ご支援、ご声援をよろしくお願いいたします。

文責：井上遼

こんにちは、コストリーダーの千原です。

コストレポートの提出期限は静的審査のなかでも1番期限が早く6/1でとても大変でした。

特に大変だったのは、コスト審査のレギュレーションの把握、コストレポートの”正しい”書き方の伝授、マネジメントになります。

5月上旬までは、各班がシェイクダウンに向けて製作に尽力していたこともあってなかなか進捗が掴めずにいました。

私自身も昨年度コスト班に所属していたとはいえ、製作のほうの手一杯でレギュレーションの把握がやっとなんと未熟な部分を痛感致しました。

しかしながら、前年度コストリーダーの支援、引き継ぎましたFCAシートの自動化、**Looker Studio** (ダッシュボード)による進捗の可視化、定期的な対面によるコストレポート作成指導、さらに、最も効果的だった私の肉声によるレポート作成マニュアル動画等による工夫で、効率的に進めて参りました。

一方で、7月中旬に控えておりますリアルケースシナリオに向けて休んでいる暇もなく、チーム総合優勝のため準備を怠らず尽力して参ります。

いつもご支援、ご声援ありがとうございます。

今後とも宜しくお願い致します。

文責：千原丈

日本大会の静的審査の一つである、デザイン審査の事前資料としてデザインブリーフィングを提出いたしました。

デザインブリーフィングには、今年度の大会目標やそれを達成するためのアプローチだけでなく、各パーツの詳細な設計や製造方法についてもまとめられています。

昨年度の反省を生かし、今年度はマシンの設計段階からこのデザインブリーフィング作成を視野に入れた設計を行なってまいりました。例えばV-Processを意識したマシン開発などは昨年度から改善した点であります。

しかしながら、全体目標と各アセンブリ目標の整合性が不十分などデザインブリーフィングを作成するにあたって判明した設計段階での反省点もありました。来年度の改善点として生かしていこうと考えています。

また、デザインブリーフィング作成にあたってご助言をいただいたOBOGの方々、並びに各パーツの設計・製造・検証方法をまとめてくれたチームメイトの面々には大変感謝しております。ありがとうございました。

今後は本審査に向けた準備を進めて参りますので、よろしく願いいたします。

文責：湯蓋優大

SPD提出

6/22（木）に学生フォーミュラ大会の提出書類である、Sales Presentation Document(SPD)を提出しました。

大会の静的審査種目の一つに、プレゼンテーション審査というものがあり、自分たちが作ったマシンを一企業として、製造を委託するというコンセプトで行われます。

SPDは、プレゼンテーション審査の事前資料として、ビジネスプランなどの概要を示した文書です。

プレゼン班は、4月からミーティングを開始しSPD作成を進めてきました。今年度プレゼン班となった3人は、前年度からプレゼン班として活動していた為、昨年の経験を生かして本番の発表を見越した情報収集を行うことができました。また、提出直前にはOBOGの方々からフィードバックをもらい、推敲を重ねました。

これからは審査本番に向けて、パワーポイントの制作、発表練習に尽力していきます。

文責：佐藤尚貴

Rush factory株式会社様 ご支援のご報告

6月25日に株式会社Rush Factory様にて、ダイナパックを用いたパワー計測を協賛価格で行っていただきました。

今年度はサージタンク&リストラクターとサイレンサーの新規設計・製作を行いました。

今回のパワー測定は、新旧部品で性能を比較し、大会で使用する部品を決めることを目的に行いました。

パワー計測の際にエンジンの回転数が7500rpmから上昇しないトラブルに見舞われ、色々な手段を試すも現場では解決することができませんでした。後日確認したところ、スロットルポジションセンサーの配線に断線があり、必要な燃料が噴射されていないことが原因だったことがわかりました。

不完全な状態で持ち込んでしまったことを反省し、次回再度チャレンジする所存です。

またご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、引き続き弊チームへのご支援、ご声援の程宜しくお願い致します。

文責：長田知己

(株) ユニホーム卸センター様 ご支援の報告

この度は(株)ユニホーム卸センター様より作業着を特別価格にてご支援頂きました。

本商品は大変頑丈で、以前ご支援いただいたつなぎは日々の作業で火花、熱、引き裂きなど様々な脅威に晒されましたが、一年ほど経った今でも破れほつれなどがなく、チームの安全を支える縁の下の力持ちです。

存在感のあるロゴを入れていただいたことでチームに統一感が生まれ、作業の励みになっております。

大会まで残り少ない期間をチーム一丸となって全力で駆け抜けて参ります。

今後とも変わらぬご支援の程宜しくお願い申し上げます。



↑新しいつなぎを身に纏う新入生

文責：櫛舎祐太